

3

動植物に係る調査結果

3-1

陸生動物

3-1-1 動物相（鳥類相）

最終処分場が供用を開始したことを受け、平成 25 年度より最終処分場区域周辺において動物相（鳥類相）の調査を実施しています。今年度は 3 年目の調査であることから、評価書の事後調査計画に示したとおり、春季（平成 27 年 5 月 29 日）に実施しました。

調査の結果、キジ、カルガモ、キジバト等 8 目 21 科 25 種 132 個体を確認しました。

今回確認した種を、過年度の春季に実施した結果と比較すると、確認種数では一昨年度の 17 種、昨年度の 21 種に対して増加していますが、里山環境を反映した種構成に大きな違いはみられませんでした。また、個体数では一昨年度の 59 個体（2 ルートの合計）、昨年度の 128 個体に対し、こちらも増加しております。これは確認種数が増えたことと、ヒヨドリ、ハシブトガラス、エナガ等が多く確認されたことによるものです。

3-1-2 特筆すべき動物

特筆すべき動物の調査はいずれも最終処分場区域内及びその周辺で実施し、結果は表 3-1 に示したとおりです。

表 3-1(1) 特筆すべき動物の調査対象種、調査時期及び調査結果

分 類	種 名	調査時期	調査結果
鳥 類	チュウサギ	平成 27 年 5 月 29 日	確認できませんでした
	オオタカ	平成 27 年 4 月 27 日 平成 28 年 1 月 19 日 平成 28 年 2 月 9 日 平成 28 年 3 月 8 日	平成 28 年 2 月調査時に、カラスに追尾される 1 個体と、北へ飛翔する 1 個体の計 2 例を確認しました。（同一個体の可能性もあり）
	ハイタカ		確認できませんでした
	フクロウ	平成 27 年 4 月 28 日 平成 28 年 1 月 20 日 平成 28 年 2 月 8 日 平成 28 年 3 月 7 日	確認できませんでした
	サンショウクイ	平成 27 年 5 月 29 日	確認できませんでした
	コチドリ		4 月のオオタカ等調査時に、最終処分場調整池付近で 2 個体を確認しました
	キビタキ		4 月のオオタカ等調査時に、最終処分場北側残置森林内で 1 個体を確認しました
	タゲリ	平成 27 年 12 月 9 日	確認できませんでした

表 3-1 (2) 特筆すべき動物の調査対象種、調査時期及び調査結果

分 類	種 名	調査時期	調査結果
両生類	アカハライモリ	平成 27 年 8 月 5 日	確認できませんでした
爬虫類	ニホンイシガメ		7 月の水生生物調査時に、最終処分場を流れる天白川の下流で 1 個体を、8 月の淡水魚類調査時に 1 個体を確認しました
昆虫類	ムカシヤンマ	平成 27 年 6 月 24 日	最終処分場西側の残存緑地の林縁部で 1 個体を確認しました
	オオクワガタ	平成 27 年 7 月 31 日	確認できませんでした
	ミカドガガンボ		最終処分場調整池付近で 1 個体を確認しました
	アオメアブ		管理事務所付近で 3 個体を確認しました
クモ類	コガネグモ		最終処分場東側の緑地で 1 個体を確認しました
	アシナガカニグモ		確認できませんでした

3-2	水生生物
-----	------

3-2-1 特筆すべき水生生物

特筆すべき水生生物の調査は最終処分場区域内及びその周辺の 7 地点で実施し、結果は表 3-2 に示したとおりです。

表 3-2 特筆すべき水生生物の調査対象種、調査時期及び調査結果

種 名	調査時期	調査結果
ヒラマキミズマイマイ	平成 27 年 7 月 2 日	1 ヶ所で生息を確認しました
ヒラマキガイモドキ		2 ヶ所で生息を確認しました
ナガオカモノアラガイ		1 ヶ所で生息を確認しました
マシジミ		6 ヶ所で生息を確認しました
ドブシジミ		4 ヶ所で生息を確認しました
コオイムシ		確認できませんでした

3-2-2 水生生物（淡水魚類）

最終処分場区域内を流れる天白川（P. 1、P. 2、P. 3 の調査地点）において淡水魚類調査を平成 27 年 5 月 22 日（春季）、8 月 5 日（夏季）、11 月 4 日（秋季）、平成 28 年 2 月 3 日（冬季）に実施し、結果は表 3-3 に示したとおりです。

今回の調査結果を昨年度（表 3-4 参照）の結果と比較すると、昨年度確認したモツゴ、ドジョウが今回の調査では確認されず、出現種数は 5 種と昨年度（7 種）よりやや少ない結果となりました。

表 3-3(1) 淡水魚類調査結果（平成 27 年度）

調査方法	種 名	春季(H27. 5. 22)			夏季(H27. 8. 5)			
		調査地点						
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3	
カゴ網	カワムツ	4	1		捕獲なし	4		
	タモロコ						2	
	メダカ			1				
	種 数	1	1	1		1	1	
	個体数	4	1	1		4	2	
セルビン	カワヨシノボリ	捕獲なし			1	捕獲なし		2
	種 数				1			1
	個体数				1			2
タモ網	オイカワ		○				○	
	カワムツ	○	○	○		○		
	タモロコ						○	
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○	
	種 数	2	3	2	1	2	3	

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3-3(2) 淡水魚類調査結果（平成 27 年度）

調査方法	種 名	秋季(H27. 11. 4)			冬季(H28. 2. 3)		
		調査地点					
		P. 1	P. 1	P. 2	P. 1	P. 1	P. 2
カゴ網	種 数	捕獲なし			捕獲なし		
	個体数						
セルビン	オイカワ	捕獲なし	1		捕獲なし		
	カワヨシノボリ			1			
	種 数		1	1			
	個体数		1	1			
タモ網	オイカワ		○	○			
	カワムツ	○	○	○	○	○	○
	メダカ			○			
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	2	3	4	2	2	2

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3-4(1) 淡水魚類調査結果（参考：平成 26 年度）

調査方法	種 名	春季 (H26. 5. 14)			夏季 (H26. 8. 6)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	カワムツ	捕獲なし			7	捕獲なし	
	カワヨシノボリ						1
	種 数				1		1
	個体数				7		1
セルビン	タモロコ	捕獲なし			捕獲なし		3
	種 数						1
	個体数						3
タモ網	オイカワ	○	○	○	捕獲なし		○
	カワムツ			○			
	タモロコ		○	○			○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	ドジョウ		○				
	種 数	2	4	4	1	1	3

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

表 3-4(2) 淡水魚類調査結果（参考：平成 26 年度）

調査方法	種 名	秋季 (H26. 11. 5)			冬季 (H27. 2. 4)		
		調査地点					
		P. 1	P. 2	P. 3	P. 1	P. 2	P. 3
カゴ網	タモロコ	捕獲なし		2	捕獲なし		
	種 数			1			
	個体数			2			
セルビン		捕獲なし			捕獲なし		
タモ網	オイカワ		○			○	
	カワムツ	○					○
	モツゴ			○			
	タモロコ			○			○
	メダカ						○
	カワヨシノボリ	○	○	○	○	○	○
	種 数	2	2	3	1	2	4

注：タモ網による捕獲個体数は、その作業量に比例して多くなるため、種類のみの確認とした。

3-3-1 植物相

最終処分場の供用に伴い、最終処分場区域内に回復緑地として整備した緑地の状況及び残存緑地とした区域の状況を把握するため、平成 27 年 5 月 15 日に実施しました。

本調査は施設供用後より事業の実施期間中、継続して監視するもので、今回は 3 年目の調査になります。

その結果、回復緑地については、土壌が乾燥気味であり、生育状況の悪い個体がやや多く見られました。一方、残存緑地については、林縁部にマダケやクズが繁茂し、林内が見えにくい状況でしたが、各植物種は概ね良好な生育状況でした。本調査は次年度以降も継続し、植物相の変化を監視していくこととします。

3-3-2 特筆すべき植物

平成 26 年 4 月に最終処分場区域内の調整池へ本移植を行ったミズワラビ・ミズマツバ・シソクサの 3 種について、これらの植物の発生時期である秋季に、移植 1 年後の活着確認を行いました。

その結果、いずれの種も生育の確認はできませんでした。

表 3-5 特筆すべき植物の調査結果

種 名	調査時期	調査内容	調査結果
ミズワラビ ミズマツバ シソクサ	平成 27 年 9 月 29 日	移植 1 年後 活着確認	いずれの種も生育の確認はできませんでした